

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成24年5月31日(2012.5.31)

【公表番号】特表2011-518644(P2011-518644A)
【公表日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2011-026
【出願番号】特願2011-507528(P2011-507528)
【国際特許分類】

A 6 1 F 2/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 2/16

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月9日(2012.4.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

光学部品、先端ハブティック、および後端ハブティックを有する眼内レンズの移動を制御するための眼内レンズ用インジェクタカートリッジであって、

眼内レンズを受容するような寸法を有し、中央鉛直面に垂直な水平方向の幅が鉛直平面内の高さより大きい近位開口部と、

該近位開口部から遠位挿入先端部まで延びる中空内部と、

該近位開口部から離間した該中空内部内に設けた保持領域とを有するインジェクタカートリッジ本体部を備え、

該近位開口部が周辺スロットにより中断され、

該周辺スロットが該近位開口部から遠位方向に延び、保持領域に至る前に終結し、

該近位開口部が中央鉛直面に対して非対称的となるように該周辺スロットが水平方向に位置ずれしたことを特徴とするインジェクタカートリッジ。

【請求項 2】

周辺スロットは、近位開口部から遠位方向に向かって 3 . 5 mm ~ 9 . 3 mm の距離だけ延びることを特徴とする請求項 1 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 3】

カートリッジ本体部は、周辺スロット上に外側に隆起した上方円蓋部を有することを特徴とする請求項 1 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 4】

眼内レンズの光学部品は、直径を有し、

近位開口部の水平方向の幅が光学部品の直径より大きく、

保持領域の水平方向の幅が光学部品の直径より小さく、

光学部品が近位開口部から保持領域に挿入されるときに変形することを特徴とする請求項 1 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 5】

保持領域は、2 . 5 mm ~ 4 . 5 mm の水平方向の幅を有し、

眼内レンズの光学部品は、少なくとも 5 . 0 mm の直径を有することを特徴とする請求項 4 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 6】

保持領域は、少なくとも 2 mm の長さに沿って一定の水平方向の幅を有することを特徴とする請求項 4 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 7】

非対称的に配置された切り欠き部を有することを特徴とする請求項 1 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 8】

カートリッジ本体部から水平方向に延びる一对のフィンガグリップを有し、

非対称的に配置された切り欠き部は、一方のフィンガグリップとカートリッジ本体部との間に配置されていることを特徴とする請求項 7 に記載のインジェクタカートリッジ。

【請求項 9】

光学部品、先端ハブティック、および後端ハブティックを有する眼内レンズの送出を制御するための眼内レンズ用インジェクタシステムであって、

眼内レンズを受容するような寸法を有し、中央鉛直面に垂直な水平方向の幅が鉛直平面内の高さより大きい近位開口部と、

該近位開口部から遠位挿入先端部まで延びる中空内部と、

該近位開口部から離間した該中空内部内に設けた保持領域とを有するインジェクタカートリッジ本体部を備え、

該近位開口部が周辺スロットにより中断され、

該周辺スロットが該近位開口部から遠位方向に延び、保持領域に至る前に終結し、

該近位開口部が中央鉛直面に対して非対称的となるように該周辺スロットが水平方向に位置ずれし、

ブッシュロッドを有するハンドピースをさらに備え、

ハンドピースはカートリッジを受容するクレードルを有し、

ブッシュロッドは、カートリッジの中空内部を介して長手方向に移動するように位置合わせされ、中空内部を介して眼内レンズを押し出すことを特徴とするシステム。

【請求項 10】

周辺スロットは、近位開口部から遠位方向に向かって 3 . 5 mm ~ 9 . 3 mm の距離だけ延びることを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 11】

カートリッジは、非対称的に配置された切り欠き部を有し、

ハンドピースクレードルは、カートリッジがクレードル内で 1 つの配向においてのみ受容されるように、切り欠き部と係合する構造物を有することを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 12】

カートリッジは、カートリッジ本体部から水平方向に延びる一对のフィンガグリップを有し、

非対称的に配置された切り欠き部は、一方のフィンガグリップとカートリッジ本体部との間に配置されていることを特徴とする請求項 11 に記載のシステム。

【請求項 13】

カートリッジの中空内部は、中央鉛直面に沿って上側壁部および下側壁部を有し、

上側壁部はほぼ水平であり、

下側壁部は傾斜しており、遠位方向に向かって徐々に上側壁部の方へ収束することを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 14】

ブッシュロッドは、カートリッジの中空内部を通してほぼ長手方向に並進移動し、傾斜した下側壁部の中央部と当接することを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 15】

下側壁部は、水平方向に対して 0 度以上約 30 度以下の角度をなすことを特徴とする請求項 14 に記載のシステム。

【請求項 16】

眼内レンズの光学部品は、直径を有し、
近位開口部の水平方向の幅が光学部品の直径より大きく、
保持領域の水平方向の幅が光学部品の直径より小さく、
光学部品が近位開口部から保持領域に挿入されるときに変形することを特徴とする請求項 9 に記載のシステム。

【請求項 17】

保持領域は、2.5 mm ~ 4.5 mm の水平方向の幅を有し、
眼内レンズの光学部品は、少なくとも 5.0 mm の直径を有することを特徴とする請求項 16 に記載のシステム。

【請求項 18】

保持領域は、少なくとも 2 mm の長さに沿って一定の水平方向の幅を有することを特徴とする請求項 16 に記載のシステム。

【請求項 19】

眼内レンズをさらに有し、
眼内レンズは光学部品を有し、光学部品の直径が近位開口部の中央鉛直面に垂直な水平方向の幅より大きく、保持領域の水平方向の幅より小さく、
保持領域の水平方向の幅が少なくとも 2 mm の長さに沿って一定であることを特徴とする請求項 16 に記載のシステム。